

安全上の注意：取り付け作業を行う際は必ずミキサーの電源をお切り下さい。また、INNOFADER PRO2本体がミキサーに直接触れていない事をご確認下さい。安全のために、Innofader本体の下に紙などの絶縁物を敷いて作業を行うことをおすすめします。静電気が発生しやすい環境下で作業を行う場合は、ミキサーに一度触れてから作業を始めて下さい。付属のアダプターボードはあらかじめ絶縁処理が施されていますが、狭いスペースへの取り付けを行う際は、念のためにミキサー、アダプターボードの露出している部分に絶縁テープを貼ってから作業を行ってください。

クロスフェーダーパワーを使用した接続(図4, 9, 12参照)：
Vestax PMCチャンネルアダプター(12)他のシンプルアダプターボードと同じように簡単に接続できますが、チャンネルフェーダーもINNOFADER PRO2に取り替える場合は付属のパワーコネクタを使用して取り付けを行います。(図12参照) また、Eclar HAK 360/380のチャンネルフェーダーを取り替える場合も同様の手順で行います。[アダプター(3)を使用してください。]

アダプターボード：INNOFADER PRO2には、幅広い種類のミキサーでお使いいただけるよう、17種類のミニアダプターボードが付属しています。また、はんだ付けや改造作業を極力減らすために徹底的に改良されました。

シンプルアダプターボードについて(図3, 9参照)：アダプター(1)-(6)と(8)-(10)については、一方のコネクタをミキサーに接続し、もう一方のコネクタをINNOFADER PRO2と接続するだけで接続作業は完了しますが、ミキサーによっては部品の取り外しや取り付けが必要な場合があります。以下ではその機種と作業手順を説明しています。

- > Raneアダプター(10) - コネクタキャップが取り付けられていますので、必要に応じてコネクタキャップを取り外して接続してください。
- > Denon及びRane empathアダプター(4) - 専用のケーブルを使用してミキサーフェーダーコネクタとアダプター(4)を図1のように接続してください。
- > Xone:23/23C及び43/43Cアダプター(6) - 専用のケーブルを使用してミキサーフェーダーコネクタとアダプター(6)を図2のように接続してください。



図1: Denon / Rane Empathケーブル



図2: Xone:23/23C, 43/43Cケーブル

(1) A&H Xone, Vestax PMC Stanton SA/SK, AEM-100 / I	(2) Numark SM2, SM3	(3) Eclar Evo5 Nuo2, HAK 300,310, 320 Tascam XS-4, XS-8	(4) Reloop RMX Korg, Urei 1601 Denon, Pioneer Rane Empath	(5) Urei 1603 Numark NS6, NS7, DXM, X
(6) ADJ MXR NI Z2, Epsilon RANEI DJ Tech DIF/TR	(8) Vestax PMC-08	(9) Eclar Eternal Nuo 2.0, 3/3.0, 4/4.0, 5 HAK 360 / 380, EVO4	(10) Rane ONLY 61, 62, 64, 68 TTM-56, TTM-57	

図3: シンプルアダプターボードの対応機種一覧

(12) Vestax PMC Channel Power comes from Innofader Pro2 Xfader	(3) Eclar Evo5 Nuo2, HAK 300,310, 320 Tascam XS-4, XS-8 (チャンネルフェーダーのみ)
--	--

図4: チャンネルアダプターをINNOFADER PRO2に取り替える場合に使用するミニアダプターです。取り付けを行う際は付属のパワーコネクタ(図12)を必ず使用してください!

パワードアダプター：パワードアダプターはミキサーのパワーサプライと接続するためのアダプターです。INNOFADER PRO2には2種類のパワードアダプターが付属しています。**エンベデッドパワードアダプター(図7, 10参照)：**一つのアダプターボードにパワーコネクタが備わっています。**エクスターナルパワードアダプター(図8, 11参照)：**別のアダプターを使用することで作動します。図10の(A)はミキサーとアダプターを接続することで電力を供給するパワーケーブルです。(B)は電力をミキサーに戻すパワーケーブルです。特殊な例:

- > Numark M2-M6, DM2050, Vestax PMC-280へ取り付けの場合はパワーコネクタのはんだ付けが必要です。
- > A&H Xone:22へ取り付けの場合は改造(ハンダ付けは必要ありません)が必要です。ミキサーフェーダーコネクタからアダプター(15)へ接続する際は図5のケーブルを使用してください。
- > Technics SH-DJ1200とSH-DX1200はパワーコネクタのはんだ付けが必要です。ミキサーフェーダーコネクタからアダプター(13)へ接続する際は図6のケーブルを使用してください。

* innofader.com/compatible.phpで写真をご確認ください。



図5: Xone:22 ケーブル



図6: SH-DJ/DX1200ケーブル

(15) A&H Xone:22, Numark M2, M3, M4, M6, DM1050, DM2050	(7) Technics SH-EX1200	(13) Technics SH-DJ1200, SH-DX1200	(14) Vestax VMC-002, -004 PMC-280
---	------------------------	------------------------------------	-----------------------------------

図7: パワードアダプター

(16) Numark M101USB, M1 M101, M1USB	+	(17) Numark M1, M1USB POWER	又は	(16) Numark M101USB, M1 M101, M1USB	+	(11) Numark M101, M101USB POWER
-------------------------------------	---	-----------------------------	----	-------------------------------------	---	---------------------------------

図8: エクスターナルパワードアダプター

図9: シンプルアダプター取り付け例

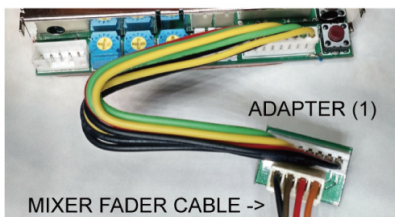


図10: エンベデッドパワードアダプター取り付け例

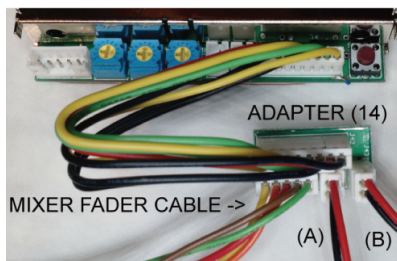


図11: エクスターナルアダプター取り付け例

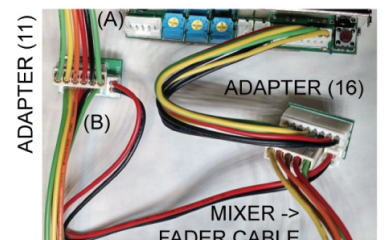
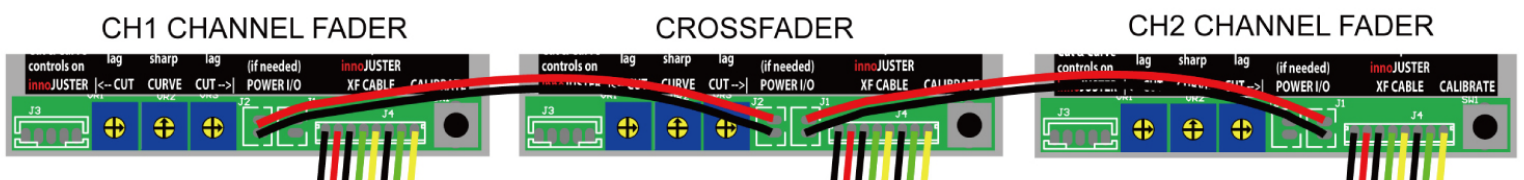
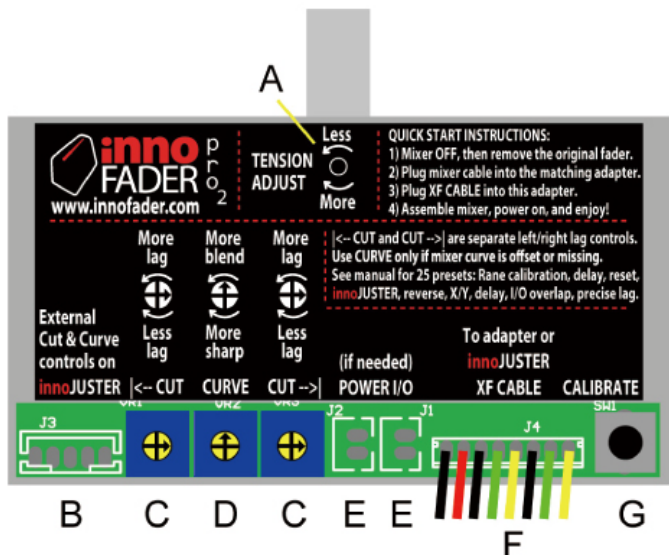


図12: クロスフェーダーパワーを使用したチャンネルフェーダー接続(Vestax PMC及びEclar HAK 360/380向け)



お問い合わせ
メールでのお問い合わせ: info@stokyo.com
ミキサー対応表及び特定の機種のチュートリアルは以下のリンクよりご確認ください。
INNOFADER ウェブサイト: <http://www.stokyo.com/jp/audio-innovate>
INNOFADERメーカーサイト: innofader.com/compatible.php



A) **テンションアジャスト**：ミックスを重視する際など、テンションを強くしたい場合は右に回します。スクラッチをする際など、テンションを弱くしたい場合は左に回します。左に回しすぎるとネジが緩みますのでご注意ください。

B) **innoJUSTERコントロールケーブル**：The innoJuster (別売) を使用して、ミキサーに取り付けた後もINNOFADER PRO2のカット、カーブ、リバース、キャリブレーションを調節できます。詳細についてはinnoJUSTERマニュアルをご覧ください。

C) **|<- CUT / CUT ->|**：ダイヤルを回してカットラグを調節することができます。調節可能な範囲は0mmから3.2mmです。初期設定では3時の位置に設定しており、この設定におけるカットポイントはおよそ0.7mm、カットイン / カットアウトオーバーラップは0.1mmです。

D) **CURVE**：お使いのミキサーにカーブ調節機能がついている場合は、このダイヤルを12時の位置に合わせてください。(初期設定) カーブが急すぎる場合はこのダイヤルを少し左へ、緩すぎる場合は少し右に回してください。フェーダーの中央で切り替えを行いたい場合は左いっぱい / 右いっぴいに回してください。右いっぴいに回すとミキサーのカーブ調節に関係なくカーブが急になりますのでご注意ください。

E) **POWER I/O**：付属のパワーコネクタを使用して取り付けを行う場合は、このコネクタに接続します。(p.1-図12参照)

F) **XFケーブル**：取り付けを行うミキサーの機種に応じたミニアダプターに接続してください。innoJUSTER (別売) をお使いの場合は、このケーブルをinnoJUSTERのアダプターボードに接続し、innoJUSTERのケーブルをミニアダプターに接続してください。詳しい接続方法についてはp.1をご覧ください。

G) **キャリブレーション**：キャリブレーション設定を行う際に使用します。調節を始めからやり直す場合は、ミキサーの電源が入った状態でフェーダーを端から端まで移動させてからキャリブレーションボタンを押してください。この作業を行うことでキャリブレーションがリセットされますので、調節を誤った場合などに行ってください。詳しい調節方法については2~4ページに記載しております。

INNOFADER PRO2 プリセット

シングルステッププリセット及びダイヤルインプリセット：INNOFADER PRO2のプリセットは25通りあり、それぞれのスタイルに応じた幅広い設定を行うことができます。どちらのセッティングも必要に応じて行って下さい。

シングルステッププリセット：ダイヤルをセッティング位置にするだけで簡単にプログラムが設定されます。(p.4参照)


ダイヤルインプリセット：|<- CUT、CURVE、CUT ->|ダイヤルを使用してお好みに応じて調節を行います。調節を行った後キャリブレーションボタンを押すことで設定を記憶させることができます。(p.3参照)

シングルステッププリセット及びダイヤルインプリセットは以下の手順で行ってください。(ミキサー電源はオフの状態で作業を始めてください。複数の設定を行なう場合には、以下の手順を繰り返して行って下さい。)

1) Power-on Settingの列に記載されている通りにダイヤルを設定してください。 


2) キャリブレーションボタンを押します。 


3) 電源を入れて約1秒お待ち下さい。

4) キャリブレーションボタンをはなします。 

ダイヤルインプリセットを行う場合は以下の作業を続けて行ってください。

5) お好みに応じて調節してください。 



6) キャリブレーションボタンを押します。 

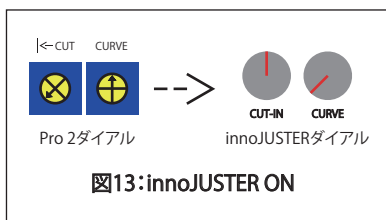
7) キャリブレーションボタンをはなします。 

【重要】
Rane社製ミキサー、Numark SM2、Numark SM3へ取り付ける場合にはP.3のRaneキャリブレーション ダイヤルインプリセットを行なってからその他、設定を行ってください。

【ポイント】
Raneキャリブレーション等の必須プリセット設定が有る機種を除き、その他の機種ではシングルステッププリセットとダイヤルインプリセット設定を行わずに左右カット、カーブのダイヤルをマニュアル調整するだけでご使用頂く事も可能です。

***シングルステッププリセット及びダイヤル調節が終わったら、ダイヤルを戻したか確認してください。

プリセット設定開始前のダイヤル状態に戻します。 例) 開始前 →  プリセット設定後 → 















***innoJUSTERをお使いのお客様へ：innoJUSTERのCUT-INツマミとINNOFADER PRO2のCURVEダイヤルを同じ状態にセットし、innoJUSTERのCURVEツマミとINNOFADER PRO2の|<-CUTダイヤルをプリセット設定の際の"Power-on Setting"と同じ状態にします。(図13、p.3参照) p.4の"INNOJUSTER"の項に従ってON、SLICE1、もしくはSLICE2に設定し使用可能な状態にしたら、innoJUSTERを通してダイヤルプリセットを簡単に行うことができるようになります。(RANEのキャリブレーションを除く) innoJUSTERのCUT-INツマミがINNOFADER PRO2の|<-CUTダイヤルと同じように機能するようになりますので、innoJUSTERを使用してp.4の"作業手順及び詳細"に記載されている内容と同じように設定できます。

- 1) Raneのキャリブレーションを除いて全てのキャリブレーションは、調整作業の間|<--CUTダイアルを使用して調整を行えるよう、約1mmのデッドスペースを設定します。
- 2) 調整を終えたら、キャリブレーションボタンを必ず押してください。
- 3) 調整をやり直す場合は、p.4に記載されている”Rane calib RESET”もしくは”Factory Default”の作業を行ってください。

Preset Name	Power-on Setting	作業手順及び詳細
<p>Raneキャリブレーション</p> <p>Rane社製ミキサー、Numark SM2、Numark SM3へ取り付ける際は必ず行ってください。</p>	<p> <--CUT CURVE</p> 	<p>Rane社製ミキサー (TTM-56-57、Sixty-One、Sixty-Two、Sixty-Eight)、Numark SM2、Numark SM3へ取り付ける際に行ってください。これらのミキサーに搭載されているフェーダーはリミテッドアウトプットレンジ (例:0.6V-4.4Vから5V) があるため、The Innofader Pro2もこれらの機種のミキサーのフェーダーのレンジと合わせる必要があります。この作業を行わない場合、ラグを最小に設定してもフェーダー両端に大きなデッドスペースが生じてしまいます。</p> <p> <--CUT CURVE CUT--> </p>  <p>左図は初期設定です。図の位置から調節を始めてください。それぞれのダイヤルが独立しているため、調整作業は以前のInnofader Proと比較してかなりシンプルになっています。</p> <p> <--CUT</p>  <p>左側のラグを小さくするためには <-- CUTダイアルを使用します。ダイヤルを右に回すとラグを最大で10mmまで小さくすることができます。</p> <p>CURVE</p>  <p>カーブの調整を行う際はCURVEダイアルを使用します。ダイヤルを左に回すとチャンネル1のボリュームが大きくなり、チャンネル2のボリュームが大きくなります (この調整を行う際はフェーダーシャフトを中央にセットしてください)。</p> <p>CUT--> </p>  <p>右側のラグを小さくするためにはCUT --> を使用します。ダイヤルを右に回すとラグを最大で10mmまで小さくすることができます。</p>
<p>レスポンスタイム</p> <p>ポップノイズが出た場合の対処法</p>	<p> <--CUT CURVE</p> 	<p>初期設定におけるレスポンスタイムは1.2ミリ秒ですが、レスポンスタイムが早すぎるとポップノイズが出る場合があります。ポップノイズが出た場合は、下図のようにダイヤルを調整しレスポンスタイムを遅くします。</p> <p>CURVE</p>  <p>The Innofader Pro2のCURVEダイアルを右いっぱいにセットします。このとき、お使いのミキサーまたはコントローラーのカーブは最も緩やかになるようセットしてください。</p> <p> <--CUT</p>  <p> <-- CUTダイアルを使用してトータルレスポンスタイムを調整します。最短は1.2ミリ秒 (初期設定)、最長 (左いっぱい) は50ミリ秒です。中間設定は4ミリ秒です。</p> <p>50 1.2</p>
<p>シグナルオーバーラップ</p>	<p> <--CUT CURVE</p> 	<p>Innofader Pro2の周辺でノイズが発生している場合、ジッターが発生します。グラウンドなどを確認し対策を行っても改善されない場合は、以下の作業を行ってください。また、MIDIジッター (聞き取ることはできないもののMIDIパフォーマンスに影響を及ぼすジッター) に対処する際も以下の手順で対応できます。</p> <p>CURVE</p>  <p>The Innofader Pro2のCURVEダイアルを12時付近の位置にセットし、ミキサーカーブでこのセッティングが有効か確認してください。</p> <p> <--CUT</p>  <p> <-- CUTダイアルを使用してオーバーラップを調整します。最小は0.1mm (初期設定)、最大は (左いっぱい) は5mmです。</p> <p>0.1 5</p>
<p>レイテラルインヒビター</p>	<p> <--CUT CURVE</p> 	<p>The Innofader Pro2は動かしたときに中央左と中央右でボリュームが変化するのを防ぐために感度が鈍化します。中央左と中央右でも感度をよくするためにこの機能を無効にすることができます。</p> <p>CURVE</p>  <p>The Innofader Pro2のCURVEダイアルを12時の位置にセットし、ソフトミキサーカーブを使用して中央左と中央右での感度を確認することができます。</p> <p> <--CUT</p>  <p> <-- CUTダイアルを使用してベンディングを調整します。初期設定ではダイヤルは中央に設定されており、maxに設定すると機能が倍に、minに設定すると機能を無効にします (左図参照)。</p> <p>max min</p>

INNOFADER PRO2 シングルステッププリセット

モード切替やマニュアルダイヤル調整では難しい細かなセッティングを簡単プログラム設定

Preset Name	Power-on Setting	作業手順及び詳細
FWD/REV	Reverse 	フェーダーの出力方向を逆にします。
	Forward 	フェーダーの出力方向を初期設定に戻します。
CURVE	Curve Fixed B 	CURVEの機能を無効にし、出力を一定にします。
	Curve Enable 1 	Curve Fixed BプリセットでCURVEの機能を無効にしたとき、CURVEを再度有効にします(初期設定に戻ります)。
	Y Curve Line Fader 	the InnoFader Pro2をラインフェーダーに取り付けるときに行います。この設定にするとフェーダー上端または下端でのスクラッチなどが可能になります。
	Y Curve Crossfader 	ほとんどのVCAクロスフェーダーは4ワイヤーコネクションを備えています。アジャスタビリティを最大にするためにはこの設定を行ってください。Traktor Kontrol Z2には使用できません。
	X Curve 1 Crossfader 	アナログもしくはバランスドVCAクロスフェーダーコネクションに使用し、クロスフェーダーの両チャンネルが同じように機能するように設定します。(初期設定)
LAG*	Right lag +0.15mm 	右側のカットラグを大きくします。4ステップ*(およそ0.15mm)幅での調節が可能です。
	Right lag +0.04mm 	右側のカットラグを大きくします。1ステップ*(およそ0.04mm)幅での調節が可能です。より細かい調節を行う場合に設定します。
	Right lag -0.15mm 	右側のカットラグを小さくします。4ステップ*(およそ0.15mm)幅での調節が可能です。細かいスクラッチをしたい場合に設定します。
	Right lag -0.04mm 	右側のカットラグを小さくします。1ステップ*(およそ0.04mm)幅での調節が可能です。より細かい調節を行う場合に設定します。
	Left lag +0.15mm 	左側のカットラグを大きくします。4ステップ*(およそ0.15mm)幅での調節が可能です。
	Left lag +0.04mm 	左側のカットラグを大きくします。1ステップ*(およそ0.04mm)幅での調節が可能です。より細かい調節を行う場合に設定します。
	Left lag -0.15mm 	右側のカットラグを小さくします。4ステップ*(およそ0.15mm)幅での調節が可能です。細かいスクラッチをしたい場合に設定します。
	Left lag -0.04mm 	右側のカットラグを小さくします。1ステップ*(およそ0.04mm)幅での調節が可能です。より細かい調節を行う場合に設定します。
INNOJUSTER	InnoFader ON 	the InnojusterのCUT-INとCURVEを使用できるようにします。この調節を行うとthe InnoFader Pro2のCUT --> は使用できなくなりますのでご注意ください。
	InnoFader SLICE 	the Innojusterでセパレート/rカットコントロールができるようにします(CUT-IN左、CURVE右)。取り付けの最中にカーブのプリセットを行う場合はInnoFader Pro2のCUT --> を使用してください。
	InnoFader SLICE2 	CUT-INとCURVEが適切に機能するか確認するためにthe InnoFader Pro2のラベルが後ろを向いている場合を除いては“SLICE”と同じです。
	InnoFader OFF 	Innojusterモードを無効にします(初期設定)。the Innojusterを取り外す際に設定してください。
RESET	Rane calib RESET 1 	Raneキャリブレーションを無効にします。the InnoFader Pro2をRane TTMシリーズミキサーから他のミキサーへ取り付ける場合や、調節を誤った場合などに使用します。
	Factory Default 	初期設定に戻します。

*LAGプリセットに関して: 繰り返し設定する事でそれぞれの幅でプラス及びマイナス調整が可能

*ステップ - デジタル処理の大きさを表す単位